



浄土真宗本願寺派 小倉組

サンガ小倉

SANGA KOKURA SPRING ISSUE

2026 FEBRUARY

2月

春号

令和8年 2月発行

来る2月2日(月)、濱畑先生をお招きして小倉組研修部による研修会が開催されます。今回のテーマは「恩徳讃」です。「恩徳讃」というと、法座の最後にうたう歌としてお寺でなじみのある歌ですが、その歌詞は親鸞聖人が書かれたものであるということを御存じでしょうか。私は幼いころ、「おんどく」という人がいて、その人のことを、みんなが「おんどくさん」と呼んでいると思っていました。



【小倉組 研修部部長】
永明寺／住職 松崎 智海

恩を知る

耳なじみがあるけれども、意外と知らないのが「恩徳讃」ではないでしょうか。

仏教では、「今の私があるためになされたこと」を「恩」と言います。「恩」という字は「心」の上に「因」という字を書きますが、「因」という字は、布団の上に人が寝ているすがたをあらわします。その人の下敷きになる原因という意味なのだそうです。つまり、今の私がこうである原因を深く心にとどめるすがたを「恩」という字は表しています。

私たちが今こうしてお念仏を申す身となり、お浄土に生まれる人生を歩むことができるのは、私を救おうと願い立ち上がられた阿弥陀様のお慈悲があるからです。仏様のお慈悲を下に敷くなんてもったいないことですが、阿弥陀様は私の全てを

受け止め、温かいお布団のように私を包み込んでくださります。私たちの人生は、阿弥陀様からいただく恩によって支えられているのです。

親鸞聖人はお亡くなりになるその時まで世間の余計なことは言わず、ただ阿弥陀様の「ご恩」のありがたさを口にされた方です。そんな親鸞聖人が阿弥陀様からいただいた「恩」や「徳」を「讃」えたのが「恩徳讃」です。

阿弥陀様からいただいたお念仏の御恩を「身を粉にしても」「骨を砕いても」返しきれないほどのものとして尊ばれています。今回の講座では、知っているようで意外と知らない「恩徳讃」のおこころを味わいます。きっとこの講座を受けたあとは、恩徳讃の響きがよりありがたく聴こえてくることでしょう。

研修部一同皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

法座のご案内

2026年(令和8年)

3月・4月・5月・6月の法要予定

3月の法要予定

春季彼岸法要	萬徳寺	3月10日(昼)・11日(朝昼)・12日(朝昼)	朝9時半/昼13時半	松嶋 智譲
春季彼岸法要	正行寺	3月13日(昼夜)・14日(昼夜)・15日(昼)	昼13時半/夜19時半	長倉 伯博
春季彼岸法要	観應寺	3月14日(昼)・15日(昼)	昼13時半	海野 唯可
春季彼岸法要	善龍寺	3月15日(昼)	昼13時半	篠田 准照
春季彼岸法要	正善寺	3月18日(昼)・19日(昼)	昼13時半	西郷 信行
春季彼岸法要	西願寺	3月19日(昼)	昼13時半	北山 祐章
春季彼岸法要	西宗寺	3月19日(昼夜)・20日(昼夜)・21日(昼)	昼13時半/夜19時半	上野 隆平
春季彼岸法要	永明寺	3月20日(昼)	昼11時	松崎 智海
春季彼岸法要	教泉寺	3月20日(昼)	昼13時半	池尻 正道
春季彼岸法要	西教寺	3月20日(昼)	昼13時半	野崎 正信
春季彼岸法要	慈光寺	3月20日(昼)	昼13時半	住職・若院
春季彼岸法要	本通寺	3月20日(昼)	昼13時半	禿河 浩肇
春季彼岸法要	明圓寺	3月20日(昼)	昼13時半	井上 顕悟
春季彼岸法要	明恩寺	3月20日(昼)・21日(昼)	昼13時半	福田 毅
春季彼岸法要	永楽寺	3月21日(昼)	昼13時半	姜 曉艶 (ジャン・ショウワイエン)
春季彼岸法要	極楽寺	3月21日(昼)	昼13時	福光 得真
春季彼岸法要	安楽寺	3月27日(昼)・28日(昼)	昼13時半	永井 了祥

4月の法要予定

灌仏会・降誕会 御堂寄席	西宗寺	4月5日(昼)	昼13時半	柳亭燕路 柳亭こみち 他
花まつりコンサート	慈光寺	4月12日(昼)	昼14時	クラリネット・チェロ・ピアノ

5月の法要予定

永代経法要・降誕会	萬徳寺	5月12日(昼)・13日(朝昼)・14日(朝昼)	朝9時半/昼13時半	内藤 昭文
引上会報恩講	永照寺	5月14日(朝昼)・15日(朝昼夜)・16日(朝昼)	朝10時/昼13時半/夜20時	三浦 真証
永代経法要	正行寺	5月15日(昼夜)・16日(昼夜)・17日(昼)	昼13時半/夜19時半	白石 智昭
永代経法要	慈光寺	5月16日(昼)・17日(昼)	昼13時半	荒本 由未
永代経法要	明圓寺	5月16日(昼)・17日(朝昼)	朝10時/昼13時半	文珠四郎 琢磨
永代経法要	明恩寺	5月16日(昼)・17日(昼)	昼13時半	藤田 慶英
永代経法要	古法寺	5月18日(昼)・19日(昼)	昼13時半	野田 成敏
永代経法要・降誕会	善行寺	5月18日(昼夜)・19日(昼)	昼13時半/夜19時半	久留島 法暁
永代経法要	西宗寺	5月21日(昼夜)・22日(昼夜)・23日(昼)	昼13時半/夜19時半	東光 爾英
永代経法要・降誕会	安楽寺	5月22日(昼)・23日(昼)	昼13時半	久留島 法暁
永代経法要・降誕会	永楽寺	5月23日(昼)・24日(昼)	昼13時半	柴田 弘司
永代経法要	教泉寺	5月24日(昼)	昼13時半	生土 昌行
永代経法要	善龍寺	5月24日(昼夜)・25日(昼)	昼13時半/夜19時	舟川 宏顕
永代経法要・降誕会	永明寺	5月30日(昼)・31日(朝昼)	朝10時/昼13時半	深水 健司

6月の法要予定

永代経法要	正善寺	6月6日(昼)・7日(昼)	昼13時半	酒井 光義
婦人会大会法要	萬徳寺	6月6日(朝昼)・7日(朝昼)	朝9時半/昼13時半	安静 至邦
永代経法要	浄念寺	6月12日(昼)・13日(昼夜)・14日(昼)	昼13時半/夜19時半	生土 昌行
永代経法要	本通寺	6月14日(昼)・15日(昼)・16日(昼)	昼13時半	禿河 浩肇
永代経法要	長玄寺	6月16日(朝)	朝10時	柳原 遊
永代経法要	西願寺	6月18日(昼)	昼13時半	藤井 義英
永代経法要	西蓮寺	6月20日(昼)21日(朝昼)	朝10時/昼13時半	松月 博宣
永代経法要	観應寺	未定	未定	葛野 洋明

鎮西別院報恩講法要	別院	4月3日(日中遠夜)	晨朝7時	宮部 誓雅
		4月4日(晨朝日中遠夜)	日中10時	
		4月5日(晨朝日中遠夜)	遠夜13時半	

皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先

広報伝道部
本通寺

〒802-0051 北九州市小倉北区黒原2丁目40-8
Tel.093-922-8460 Fax.093-922-5887

無事終了のご報告



九州国立博物館開館20周年記念

混迷の時代に救いの光をもたらした法然上人ゆかりの宝物や浄土教美術の名品が一堂に！

昨年度よりご好評いただいております、小倉組の研修バスツアーを今年も開催いたしました。皆様とともに、九州国立博物館で開催されておりました、法然と極楽浄土展を巡り、福岡タワーにて昼食、浄満寺様でご法話をいただく、有り難いご縁でした。コロナ前の楽しく学びながら皆様と過ごす時間を取り戻せたようなご縁でした。また来年度もさらにパワーアップして開催する予定となっております。ぜひまたご参加ください。

小倉組研修部日帰り旅行「法然と極楽浄土」

2025
10/29

無事終了のご報告



小倉組で開催させていただく行事、「親鸞のつどい」ですが、発会の歴史を辿っていきますと、遡ること六十四年前、昭和三十七年に「小倉親鸞の集い」として始まりました。その後、休止期間もありましたが、歴代組長の思いと各教化団体の会長をはじめ関係各位の熱意を受け、二〇〇四年より「合同研修会」という形で再開され、二〇一三年より「小倉親鸞のつどい」とし、開催されてまいりました。また、二〇二五年は先の大戦「終戦より八十年」にあたる節目の年でもありましたので、宗門（浄土真宗本願寺派）が推進しております「平和をきずく法要」を小倉組として併修させていただきました。戦火により失われた多くの尊い「いのち」に思いを致し、非戦の思いを新たに、一人一人にかけられている「仏さま」の願いを聴かせていただく貴重なご縁となりました。

「小倉親鸞のつどい」開催

2025
10/25

西頭寺にて